

# 生活単元学習学習指導案

あさひ子学級3組 5名 指導者 三浦和也

本授業では、以下の検証を行うものである。

本授業で使用した「思考スキル」や「見える図」等は、自分の考えを構築するための手立てとして有効であったか。

## 1 小単元 仲よし合同遠足に行こう

### 2 目標

友達と一緒に田上小校区から遠く離れた施設に行くことを楽しみに事前学習をしたり、当日は、動物とのふれあいや公共交通機関に乗ることを楽しんだりすることで、娯楽や余暇の過ごし方の可能性に広がりをもたせ、これまで学習してきたことを生かし、新たな活動を行うことよさに気付くことができるようにする。

### 3 小単元の評価規準

- 動物園に行くことを楽しみに事前学習をしたり、当日は、動物園での活動を楽しんだりしようとしている。 【関心・意欲・態度】
- 楽しい校外学習になるように、公共交通機関の乗り方や乗り継ぎ方、動物園での過ごし方を考えようとしている。 【思考・判断・表現】
- 公共交通機関を利用して目的地まで移動したり、絵や言葉等で活動を振り返ったりすることができる。 【技能】
- 公共交通機関の利用の仕方を知り、外で活動する楽しさに気付くことができる。 【知識・理解】

## 4 小単元について

### (1) 小単元について

これまで、子どもたちは近隣小中学校の特別支援学級との合同宿泊学習を南薩少年自然の家を利用して毎年経験し、そのよさや楽しさを十分に味わっている。また、子どもたちは、小単元「校区探検をしよう」や「仲よし作品展を見に行こう」において、バスを使って市立科学館などの施設の見学に出かけ、公共交通機関や公共施設の利用の仕方について学習を進めてきた。これらの学習から、子どもたちは「他の場所にも行きたい」という願いをもっている。

そこで本単元では、これまで身に付けたバスの乗降の仕方や料金の支払い方等をさらに発展させ、日ごろあまり利用する機会がない電車に乗ったり、バスや電車を乗り継いだりして、これまでの活動範囲よりも遠い場所に移動する活動を設定することにした。目的地は、平川動物公園を設定し、動物園での活動を楽しむとともに、未体験のことを体験する楽しさや活動の場が広がることよさを感じることができるようになりたい。また、公共交通機関を利用する方法やマナーなどを考えたりおやつや昼食を自分で選び購入したりする活動を取り入れ、これまでに学んだ力を活用し、子どもたちが自信をもって、進んで学習することができるようにしたい。

このような活動を通して、子どもたちは教科等で学習した力を発揮したり、新たな課題を解決したりしながら、学習を深めることができるものと考えている。

### (2) 子どもについて

	A (1年)	B (4年)	C (4年)	D (5年)	E (6年)
心の理解 校外学習の興味・関心 バスの乗り方	公共交通機関を利用する経験は少ないが、乗り物への関心は高い。	公共交通機関を利用した経験があり、乗り物への関心が高く活動を楽しむことができる。	校外学習への関心が高く、料金を払い、バスの乗車ができ、活動を楽しみにしている。	バス通学をしている。また、武岡地区の友達や先生と会うことを楽しみにしている。	手帳を使ったバスの乗車ができる。動物に対する興味・関心が高く、動物園に行くことを楽しみにしている。
方法 他者とのやりとり・表現	日常会話ができる。文字で自分の思いを書くことができる。	二者選択ができる。質問に対して単語で答えることができる。	表現したいことを文字で書き表すことができる。	質問に対して二言語以上で答えることができる。	質問に対して、うなずきや単語で答えることができる。

特別支援

あい 動 植 物 と の ふ れ	動物と触れ合うことに慣れていないが、猫に興味がある。	苦手な動物があるが、小動物と触れ合うことは好きである。	進んで触れ合おうとすることは無いが、動物に対して興味・関心は高い。	動物への興味・関心が高く、触れ合うことに意欲的である。	動植物に対して、興味・関心が大変高く、意欲的に触れ合おうとする。
---------------------------------------	----------------------------	-----------------------------	-----------------------------------	-----------------------------	----------------------------------

### (3) 指導について

本単元では、子どもたちの実態をふまえ、動物園へ行く計画や準備を通して、主体的に活動を行うための学習を展開する。具体的には、これまでの学習や日常生活における経験をいかして、公共交通機関や公共施設を利用するきまりを確認したり、買い物の計画をしたりする活動を展開する。実際の校外学習では、自分のことは自分でできるように模擬体験による経験をする。校外学習後は映像等を使って振り返る活動を行い、自分ができたことに気付くことができるようにし、家庭での生活や地域社会での生活場面においても活用することができるように意欲を高めたい。

## 5 指導計画

過程	主な学習活動	評価規準					時間
		A (2年)	B (4年)	C (4年)	D (5年)	E (6年)	
導入	1 バスと電車を乗り継いで、動物園に出かけることを知る。 2 学習計画表を作成する。	関：映像をみて、動物の名前や乗り物に乗って出かけることに意欲をもつ。	関：映像をみて、乗り物に乗り継いで出かけることに意欲をもつ。	関：映像をみて、電車の乗り方に気づき、自分の考えを発表しようとする。	関：動物園に出かけることや乗り物の乗り方を下級生に教えようとする。	関：映像をみて、乗り物に乗り継いで出かけることに意欲をもつ。	2
展開	3 動物園でしたいことを教師に伝えたり友達と練習したりする。 ○ 見たい動物を発表する。 ○ 動物園の施設を調べる。 ○ 昼食等を買う練習をする。 ○ 乗り物の乗り方を練習する。 ○ おやつを購入する。 4 公共交通機関を使って動物園に行き、見学や買い物をする。	関：本時の活動に見通しをもつ。 思：友達の発表を聞き、準備するものを考えることができる。 技：教師の言葉掛けでバスや電車の乗り降りができる。 知：公共の場での過ごし方がわかる。	関：本時の活動に見通しをもつ。 思：絵カードを基に準備するもの考えることができる。 技：一人でバスの乗り降りができる。 知：友達と一緒に公共の場で過ごすことができる。	関：学習計画表に沿って活動に見通しをもつ。 思：どのような準備が必要か友達と話し合うことができる。 技：バスや電車の乗り降りが一人でできる。 知：公共の場での過ごし方がわかり友達と一緒に過ごす。	関：学習計画表に沿って活動に見通しをもつ。 思：経験を基にどのような準備が必要か考えることができる。 技：下級生にバスや電車の乗り降りを教えることができる。 知：公共の場での過ごし方ができる。	関：本時の活動に見通しをもつ。 思：教師に質問しながら必要なものを考えることができる。 技：下級生と共に電車の乗り降りができる。 知：友達と一緒に公共の場で過ごすことができる。	14 (本時)
終末	5 動物園に出かけたときのことを振り返る。	技：楽しかった活動を絵で表し、発表できる。	技：楽しかった活動の写真を選んで絵で描き、発表できる。	技：楽しかった活動を絵と簡単な言葉で表し、発表することができる。	技：楽しかった活動を絵と言葉で発表することができる。	技：楽しかった活動を絵で表し、教師の質問を交えながら発表することができる。	2

## 6 本時(6/18)

### (1) 目標

電車とバスの乗り方の違いに気づき、電車の乗り方が分かる。

### (2) 評価規準

A	B	C	D	E
バスから電車に乗り換えることに気付くことができる。 【思考・判断・表現】	電車の乗り方について考えることができる。 【思考・判断・表現】	バスと電車の乗り方の違いに気付くことができる。 【思考・判断・表現】	バスと電車の乗り方の違いに気づき、友達に伝えることができる。 【思考・判断・表現】	バスと電車の乗り方に違いがあることに気付くことができる。 【関心・意欲・態度】

(3) 指導に当たって

「導入」段階では、学習計画表を見て本時の学習を確認することで、これまでの学習を振り返り、活動への意欲を高めることができるようにする。また、動物園や電車の写真を見ることで、動物園に行きたい気持ちを高めるとともに本時の学習の意欲を高めることができるようにする。さらに、「すること」を確認することで、本時の学習の見通しをもつことができるようにする。

「展開」段階では、電車に乗るときの様子の動画を見ることで、電車に乗ることができるようになりたいという意欲を高めるとともに電車に乗るときに必要なことに気付くことができるようにする。また、個別実態に応じたワークシート活用することで、電車とバスの乗り方の違いや共通点に気付くとともに、電車の乗り方が理解することができるようにする。さらに、学習したことをすぐに模擬体験をすることで、電車の乗り方を身に付けることができるようにする。

「終末」段階では、学習計画表を基に、次時の学習の確認をすることで、今後の学習への見通しをもち、活動の意欲をもつことができるようにする。

(4) 本時の展開  重点化するスキル [ ] 子どもの意識 ○指導の手立て ※評価

過程	時間	主な学習活動	指導の手立て
導入	7	1 本時の活動を確認する。 ( ・ 動物園に行くのが楽しみだな。 ・ バスや電車に乗りたくないな。 ・ どうやって電車に乗ればいいのか。 ) 2 本時のめあてをつかむ。 どうぶつえんまでのいくためのれんしゅうをしよう。 3 学習の流れを確認する。 <b>見通す</b> (1) 電車の乗り方を知る。 (2) バスと電車の乗り方を比べる。 (3) 電車の乗り方を練習する。	○ 学習計画表を見て本時の学習を確認することで、これまでの学習を振り返り、活動への意欲を高めることができるようにする。 ○ 動物園や電車の写真を見ることで、動物園に行きたい気持ちを高めるとともに本時の学習の意欲を高めることができるようにする。 ○ 「すること」を確認することで、本時の学習の見通しをもつことができるようにする。 ○ 電車に乗るときの様子の動画を見ることで、電車に乗ることができるようになりたいという意欲を高めるとともに電車に乗るときに必要なことに気付くことができるようにする。 ○ 個別実態に応じたワークシート活用することで、電車とバスの乗り方の違いや共通点に気付くとともに、電車の乗り方が理解することができるようにする。
展開	30	4 電車の乗り方を知る。 ( ・ 鹿児島中央駅まではバスに乗ればいいね。 ・ 駅から電車に乗るんだね。 ・ 2回バスに乗るんだね。 ) 5 バスと電車の乗り方を比べる。 <b>比較する</b> ( ・ 電車は先に切符を買えばいいんだね。 ・ 電車はボタンを押さなくてもいいね。 ・ 静かに座って乗るのはいっしょだね。 ) 6 電車の乗り方を練習する。 ( ・ 券売機で切符を買うときは、一人のボタンを押すんだね。 ・ 改札口で切符を入れないといけないね。 ・ 静かに座って乗るんだね。 )	○ 学校から動物園までの道のりが分かり、電車とバスの乗り方の違いに気付き、電車の乗り方が分かる。 (模擬体験) ○ 達成できた子どもには、称賛を行い、降りる場所を質問する等、本番の活動の見通しをもつことができるようにする。 ○ 達成が難しい子どもには、教師が言葉掛けを行ったり、模範を見せたりしながら練習するようにする。
終末	8	7 本時の振り返りをする。 ( ・ バスと電車の乗り方は、違うところがあるのだな。 ・ 電車の乗り方は、もう大丈夫だ。 ) 8 次時の学習活動を確認する。	○ 学習計画表を基に、次時の学習の確認をすることで、今後の学習への見通しをもち、活動の意欲をもつことができるようにする。

特別支援